

プレスリリース

大使館の美術展Ⅱ ―文化交流随想― 駐日クロアチア共和国大使館

Exhibitions of Embassies Part II: Embassy of the Republic of Croatia in Japan
– Pathways to Cultural Exchange with the World –

東京富士美術館は、これまで世界 34 カ国地域の美術館や文化機関との友好関係を築きながら、各国の優れた芸術を新しい視点から紹介する海外文化交流特別展を開催してまいりました。また、51 回にわたる海外文化交流特別展の歴史は、そのまま当館の文化交流の足跡でもあります。

昨年より開始した新企画「大使館の美術展」では、日本国内の大使館から貴重な作品をお借りし、好評を博しております。今回、駐日クロアチア共和国大使館のご協力を得て、厳選された約 20 点の作品をご紹介します。

展示では、クロアチアと日本の友好を象徴する絵画や工芸品、さらにはユネスコの無形文化遺産にも登録されているクロアチア伝統工芸品の木製玩具など、多彩な作品を取り上げます。



◆開催概要

展覧会名： 大使館の美術展 II —文化交流随想—

駐日クロアチア共和国大使館

Exhibitions of Embassies Part II Embassy of the Republic of Croatia in Japan

— Pathways to Cultural Exchange with the World —

※同時開催

手塚治虫点(本館／企画展示室)

西洋絵画 ルネサンスから 20 世紀まで (新館／常設展示室 第 1-6 室)

会 場： 東京富士美術館(〒192-0016 東京都八王子市谷野町 492-1)

新館／常設展示室 第 7 室

TEL 042-691-4511

会 期： 2025(令和 7)年 7 月 12 日(土)～9 月 15 日(月・祝)

休館日： 毎週月曜日、7月22日(火)、8月12日(火)

※7月21日(月祝)、8月11日(月祝)は開館

開館時間： 10:00～17:00(16:30 受付終了)

入場料金： 大人 1,500(1,200)円、大高生 900(800)円、

中小生 500(400)円、未就学児無料

※全ての展示室をご覧になれます

※()内は各種割引料金 [20 名以上の団体、65 歳以上の方、当館公式 SNS 登録者ほか]

※土曜日は中小生無料

※障がい児者、付添者 1 名は通常料金の半額 [証明書をご提示ください]

主 催： 東京富士美術館、駐日クロアチア共和国大使館

問い合わせ先： TEL 042-691-4511 FAX 042-691-4623

E-mail: toiawase@fujibi.or.jp

◆出品作品

主な作品をご紹介します。



蓮花寺 康裕(1943-)

《ドゥブロブニク》2021 年

クロアチアの「アドリア海の真珠」と呼ばれるドゥブロブニクの時代を超えた美しさを捉えた作品です。

古代の石壁、テラコッタの屋根、そして輝く海が、クロアチアの何世紀にも

わたる歴史、文化、そして強靱性を映し出しています。



イワン・ラブジン(1921-2008)

《森へ続く道》

柔らかなパステルカラーと丸みを帯びた形が特徴のこの牧歌的な風景は、クロアチア北部のなだらかな丘を想起させます。森へと続く小道が、思索のひとときと自然への回帰へと誘います。



タティヤナ・クリジュマニッチ・フォルツ
(1960-)

《休暇》 1997 年

色鮮やかな色彩と遊び心あふれる構成が特徴のこの作品は、クロアチアの海岸で過ごす夏の休暇の喜びを表現しています。

陽光に満ちたアドリア海沿いの日々の伸び伸びとした精神を見事に捉えています。



イワン・ラツコヴィッチ・クロアタ (1932-2004)

《私の背負うもの》 1996 年

物憂げな雰囲気漂う本作は、クロアチアの農村生活の苦難を映し出しています。見えない重荷を背負う孤独な人物は、クロアチアの人々の忍耐と強さを象徴しています。



ヴチェドル文化の壺(複製)

4000年以上前にクロアチアで栄えたヴチェドル文化を讃える陶器の複製です。精巧な模様と独特の形状は、当時の高度な職人技と精神的な象徴を物語っています。



木製玩具(伝統工芸品)

クロアチアのザゴリエ地方に由来する手作りの木製玩具は、何世代にもわたって受け継がれてきた何百年もの伝統を体現しています。

現在ではユネスコの世界遺産にも登録されています。

◆開催予定のイベント

※詳細は今後ホームページ www.fujibi.or.jp にてお知らせします。

刺繍ワークショップ

日時：8月2日(土)／8月16日(土)／8月30日(土) 各回 14:00～

講師：ブラジェンカ・フラスティッチ大使夫人



※事前予約制につき、以下の QR コードよりお申し込み下さい。

各回定員 10 名



◆レストラン セーヌからのお知らせ

駐日クロアチア共和国大使館展開催記念！
日本初上陸「クレムシュニテ」を味わう特別なティータイム

このたび、東京富士美術館レストラン・セーヌでは、クロアチア共和国大使館展の開催を記念し、Ozmall 限定の特別なティータイムケーキセットをご提供いたします。

このセットの目玉は、なんと言っても日本で初めてお召し上がりいただけるクロアチア伝統のケーキ「クレムシュニテ」です！クロアチアを代表するこのデザートは、サクサクのパイ生地とふわふわのクリームが織りなす絶妙なハーモニーが特徴。

本場の味わいを、この機会にぜひご堪能ください。

クロアチアの文化と美食に触れる貴重なひとときを、東京富士美術館で体験してみませんか？



Ozmall 限定ご予約はこちらから
(<https://www.ozmall.co.jp/restaurant/9649/>)



大使からのメッセージ

本展覧会にご来場いただき、誠にありがとうございます。



このたび、東京富士美術館との協力により、クロアチア美術をご紹介する特別な展覧会を開催できますことを、心より光栄に存じます。

本展では、クロアチア共和国大使館および大使公邸のコレクションより、厳選された貴重な作品をご覧いただけます。普段、一般には公開されることのない作品の数々を展示できることを、大変嬉しく思っております。

展示作品は、紀元前 3000 年のヴチェドル文化から現代美術に至るまで、幅広い時代を網羅しています。なかでも、クロアチアを代表するアーティストであるイワン・ラツコヴィッチ・クロアタ（1932-2004）やイワン・ラブジン（1921-2008）によるナイーブアート（素朴画）、そして国際的にも高く評価されているメルサド・ベルベル（1940-2012）の詩的かつ幻想的な表現にぜひご注目ください。

クロアチア美術は、私たちの国民性 — 深い歴史、身近な風景、そして確かなアイデンティティ — を映し出すものです。この創造的な遺産を日本の皆さまと共有できることを誇りに思うとともに、本展が両国間の友好と芸術的対話の懸け橋となることを願ってやみません。

最後に、東京富士美術館による多大なるご支援とご協力に、改めて心より感謝申し上げます。

どうか、クロアチア美術の世界をお楽しみいただき、心躍る発見の旅へとお出かけください。

駐日クロアチア共和国特命全権大使
ドラジェン・フラスティッチ閣下

クロアチア共和国とは

クロアチア共和国は、アドリア海に面した中東欧州の国で、自然と歴史が豊かな地域に位置しています。古代ローマ時代の遺跡が多く残るこの地は、歴史的にも文化的にも重要な地域であり、ドゥブロヴニク旧市街などの世界遺産が観光客に人気を集めています。

クロアチアにおける言語文化の礎として重要なのが、グラゴル文字(Glagoljica)です。これは9世紀に聖キュリロス(チリル)と聖メトディオス(メトロ)兄弟によって創案され、スラヴ語(古教会スラヴ語)を表記するための最初の文字体系として知られています。特にクロアチアの沿岸部や島嶼部では、典礼書や文書の作成に長く用いられ、独自の文化的伝統を築いてきました。クロアチア語による初期の文献の多くがこの文字で記されており、グラゴル文字はクロアチアに根ざした言語文化の独自性を象徴する存在です。

クロアチアは、幾多の歴史を経ながらも、その文化と自然の魅力を守り続け、世界に向けて発信し続けています。それは国民にとって大きな誇りとなっています。



首都ザグレブ



プーラ円形闘技場



ドゥブロヴニク旧市街を海から望む



プリトヴィツェ湖群国立公園

東京富士美術館について

当館は 1983 年 11 月、東京・八王子市に設立された総合的な美術館です。コレクションは日本・東洋西洋の各国、各時代の絵画・版画・写真・彫刻・陶磁・漆工・武具・刀剣・メダルなど様々なジャンルの作品約 30,000 点で形成されています。

「世界を語る美術館」を“永遠の指針”としてこれまで各国地域の優れた文化を新しい視点から紹介する海外文化交流特別展を国内外で活発に開催し、1990 年には日本の外務省より「外務大臣表彰」を受賞。2008 年には新館がオープンし、常設展示室ではルネサンスからバロック・ロ可可・新古典主義・ロマン主義を経て、印象派・現代にまで至る西洋絵画 500 年の油彩画コレクションが一望できるようになっています。



問い合わせ先：TEL 042-691-4511 FAX 042-691-4623

E-mail: toiawase@fujibi.or.jp